



2021年1月14日

各位

会社名 株式会社マネーフォワード  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 辻 庸介  
 (コード番号: 3994 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役執行役員 CFO 金坂直哉  
 (TEL. 03-6453-9160)

通期連結業績予想と実績との差異及び個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2020年1月14日に公表した2020年11月期通期(2019年12月1日~2020年11月30日)の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、通期の個別実績につきましても、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値との差異について

(1) 2020年11月期通期連結業績予想と実績との差異(2019年12月1日~2020年11月30日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 11,093 ~11,451	百万円 △2,800 ~△1,900	百万円 △3,411 ~△2,511	百万円 △3,571 ~△2,671	百万円 △3,601 ~△2,701	円 銭 △82.53 ~△61.90
今回発表実績(B)	11,318	△2,164	△2,804	△2,538	△2,423	△52.08
増減額(B-A)	225 ~△133	636 ~△264	607 ~△293	1,033 ~133	1,178 ~278	30.45 ~9.82
増減率(%)	2.0 ~△1.2	-	-	-	-	-
(参考) 前期実績 (2019年11月期)	7,156	△2,180	△2,446	△2,567	△2,572	△58.95

当社は、2020年12月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり当期純利益は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 差異の理由

売上高、EBITDA、営業損失につきましては、連結業績予想のレンジ内にて着地しております。経常損失につきましては、営業損失がレンジの上限よりの水準となったことに加え、投資有価証券売却益325百万円を計上したことから、レンジの上限を上回りました。親会社株主に帰属する当期純損失及び1株当たり当期純損失につきましては、前述の通り経常損失が想定よりも上ぶれたことに加え、株式会社アール・アンド・エー・シーの株式追加取得に関連して段階取得に係る差益100百万円を計上したことから、レンジの上限を上回りました。

## 2. 前期個別実績との差異について

(1) 2020年11月期通期個別実績と前期個別実績との差異(2019年12月1日～2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	百万円 6,221	百万円 △1,748	百万円 △1,866	百万円 △2,523	円 銭 △57.83
当期実績(B)	8,368	△1,910	△1,623	△1,837	△39.50
増減額(B-A)	2,147	△161	242	685	18.33
増減率(%)	34.5	—	—	—	—

当社は、2020年12月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり当期純利益は前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

### (2) 差異の理由

Money Forward Business ドメインを中心に、各ドメインにおいてサービス導入先が増加したこと等から、前期比で大幅に増収いたしました。

以上